

国文学専攻博士課程修了者

町 泉寿郎 江戸時代における考証学の成立

— 儒と医をめぐる —

(平成十一年三月二十五日)

— 歌、俳「無評」を中心として —

木津 奈々江 三島由紀夫『豊饒の海』論

万葉集巻九における諸問題

桐生 貴明 寺山修司の研究

児玉 喜恵子 高村光太郎『大いなる日に』論

杉村 建次 『忠度集』の研究

田中 千里 『近代文学で検証する明治』

鶴岡 純子 中島敦『古譚』研究

荒井 千明 食物起源説話の諸相

飯野 崇 枕詞の発生とその展開に関する一考察

— 枕詞「あしひきの」を含む古代歌謡

劉 力 『源氏物語』の音楽

— 七弦琴をめぐる —

伊東 潤一 万葉集巻五における字音仮名の清濁

表記のゆれについて

大久保 勝 江島其磧の気質物についての考察

— 『浮世親仁気質』を中心に —

大熊 靖彌 謡曲本作者の観た御息所の内的考察

論 長森 諭史 尾崎放哉『大空』論

加藤 一興 子規「七草集」と漱石「評」の考察